

会員各位

一般社団法人日本粉体工業技術協会 粉体シミュレーション技術利用分科会
 コーディネータ 東京大学大学院 酒井 幹夫
 副コーディネータ 広島大学 石神 徹
 代表幹事 (株)構造計画研究所 角家 強志
 副代表幹事 日清エンジニアリング(株) 小澤 和三

平成 29 年度第 1 回粉体シミュレーション技術利用分科会開催のご案内

～粉体シミュレーション基調講演 出展社プレゼンテーション～

拝啓 貴社いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は当協会にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、粉体工業展大阪 2017 の併催イベントとしまして、当分科会の企画による「粉体シミュレーション基調講演 出展社プレゼンテーション」と題した講演会を開催することになりました。

本講演では、基調講演 1 件、出展社プレゼンテーション 7 件の発表を予定しております。ご多忙中とは存じ上げますが、奮ってご参加頂きますようご案内申し上げます。なお、本講演は、会員外の方にも多く参加いただけますので、ご関係の企業等への参加の働きかけをいただきますようお願いいたします。

本講演は事前申込制となっております。申し込みにつきましては(一社)日本粉体工業技術協会ホームページ内「粉体工業展大阪 2017」併催イベントより直接申込み下さいますよう、よろしくお願い致します。

敬具

記

1. 日 時 : 2017年10月11日(水) 13:00~16:00 (受付開始 12:30 より)
2. 場 所 : インテックス大阪 センタービル 2 階 CD 会議室
3. 申込先 : 詳細はホームページを参照下さい。 <http://www.powtex.com/osaka/event.html#event2>
4. 場 所 : 70 名
5. 参加費 : 無料
6. プログラム

13 : 00 ~ 13 : 05	【開会挨拶】 粉体シミュレーション技術利用分科会 コーディネータ (東京大学大学院 工学研究科 レジリエンス工学研究センター 准教授) 酒井 幹夫氏
13 : 05 ~ 14 : 05	【基調講演】「最先端の粉体シミュレーション技術と産業応用事例のご紹介」 東京大学大学院 工学研究科 レジリエンス工学研究センター 准教授 酒井 幹夫氏 【講演概要】 計算機性能の向上および物理モデルの高度化が相まって、粉体シミュレーションの産業応用に関する研究が活発に行われています。本講演では、大学で開発されている最先端の数値解析モデルおよび民間企業との共同研究事例をわかりやすく紹介します。
粉体シミュレーションゾーン出展社によるプレゼンテーション	
14 : 10 ~ 14 : 25	粉体・混相流シミュレーションソフトウェア iGRAF の機能と適用事例の紹介 【講演内容】 弊社が開発した iGRAF では、1 台の PC で実体系スケールの粉体プロセスをシミュレーションでき、更に粉体液体気体の三相連成シミュレーションが可能である。本講演では、iGRAF の機能と適用事例について紹介する。 (株) 構造計画研究所
14 : 25 ~14 : 40	粒子動特性コード P. D. による粗大物連成テスト事例 【講演内容】 拡張 DEM を使った流動層、攪拌、輸送、混合、充填計算に利用されている粉体コード P. D. に、粗大物の連成、MPS 粒子法機能を追加、そのテスト事例を報告する。 (株) CPFD Lab.

14 : 40 ~14 : 55	<p>「Granuleworks」製品版リリースのご案内と弊社オリジナル技術のご紹介 【講演内容】 弊社では、DEM（個別要素法）シミュレーション・ソフトウェア「Granuleworks」の要素技術の開発をユーザー様と共同で進めております。本プレゼンでは、「Granuleworks」製品版リリースの御案内、弊社オリジナルの技術（SDEM、すべりなしの液架橋力モデル、固着モデル）の解説およびその適用事例のご紹介を致します。</p> <p style="text-align: right;">プロメテック・ソフトウェア（株）</p>
14 : 55 ~15 : 10	<p>粉体解析用粒子自動生成ソフト Meshman_ParticlePacking と利用事例のご紹介 【講演内容】 Meshman は弊社ソフトのブランドで、ParticlePacking は粒子自動パッキングソフトの名前である。(i) 任意の容器に(ii) ランダムに(iii) 指定した粒度分布で(iv) 粒子を自動生成&可視化する事ができ、複合粒子にも対応する。</p> <p style="text-align: right;">（株）インサイト</p>
15 : 10 ~15 : 25	<p>SPH-DEM 法を用いた粉体攪拌・金型充填・加圧圧縮・焼結解析ソフトウェアの開発 【講演内容】 SPH-DEM 法を用いて、粉体成形の流れを 2 次元および 3 次元で総合的にあつかう手法を開発した。すなわち粉体成形の第一段階である攪拌・金型充填問題、第二段階の粉体圧縮成形問題、さらに第三段階の焼結問題を扱うソフトウェアの紹介をおこなう。</p> <p style="text-align: right;">（株）SPH 研究所</p>
15 : 25 ~15 : 40	<p>粉体シミュレーションにおける EDEM（離散要素法）の最新活用事例 【講演内容】 EDEM はバルク材料（粉体、石炭、鉱石、土、砂、岩石等）の複雑な挙動を詳細にシミュレーション可能なソフトウェアです。材料モデルのデータベースや接触モデルが充実しており、各業界で実績があります。本講演では EDEM の活用事例をご紹介します。</p> <p style="text-align: right;">DEM Solutions Japan / サイバネットシステム（株）</p>
15 : 40 ~15 : 55	<p>十分な粉砕、混合効果を可能とした 3 次元ボールミル（3 次元リアクター）ご提案 【講演内容】 株式会社ナガオシステムは特許取得 3 次元ボールミル（3 次元リアクター）の高速回転活用により、2 次元運動では不可能とされた、粉砕、混合、分散の固形化、不均一等の問題解決。mm 以下の有/無機物をナノ、ミクロンまで（乾・湿式可）微粉砕、混合、分散可。</p> <p style="text-align: right;">（株）ナガオシステム</p>
15 : 55 ~16 : 00	<p>【閉会挨拶】 粉体シミュレーション技術利用分科会 代表幹事 角家 強志氏</p>

以上